



新鮮な興奮と感動の7日間

ときめきがほしい？

映画観に来い！

# 第28回ぴあフィルムフェスティバル

7月15日(土)~21日(金) 渋谷東急 (渋谷クロスタワー2F) <http://www.pia.co.jp/pff/>

■主催: PFFパートナーズ **ぴあ** **TBS** **TOKYO FM** Just Me, Just 80MHz **IMAGICA** **avex** entertainment **USEN** USEN GROUP

■共催: 東急レクリエーション ■特別協力: 朝日新聞社/ソニーマーケティング株式会社 ■後援: 国際交流基金/社団法人 日本映画製作者連盟/財団法人 日本映像国際振興協会  
協同組合 日本映画監督協会 ■協賛: 財団法人 本庄国際リサーチパーク研究推進機構 ■協力: 早稲田大学 ■プロモーション協力: 渋谷道玄坂商店街振興組合  
渋谷地下商店街振興組合/東京急行電鉄 ランキンランキン ■企画協力: デジタルde「みんなのムービー」Project ■特別協賛: **maxell** ■支援: **文化庁** AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS

## タイムテーブル

※やむを得ない事情によりプログラムおよび来場ゲストが変更になる場合がございます。ご了承ください。

<b>7/15</b> (土)
11:00~ <b>PFFアワードA</b> ★ 「黒森歌舞伎」 「豚足の夜」
13:45~ <b>PFFアワードB</b> ★ 「隼」 「hanafusa」
16:30~ <b>PFFアワードC</b> ★ 「Catchball With ニコル」 「胸騒ぎを鎮める」
19:15~ <b>PFFアワードD</b> ★ 「クラウド・ゼロ」 「ダイバーのリズム」
<b>7/16</b> (日)
11:00~ <b>PFFアワードE</b> ★ 「盲の夢」 「はっこう」
13:45~ <b>PFFアワードF</b> ★ 「single」 「まばたき」
16:30~ <b>PFFアワードG</b> ★ 「ニューヘアー」 「ダム・ガール」 「IMMEASURABLE MYSTIC BOOK」

19:15~ <b>PFFアワードH</b> ★ 「MIDNIGHT PIGSKIN WOLF」 「.doc」 「光」
<b>7/17</b> (月・祝)
9:30~ 招待作品部門 日本映画最前線 「いいこ。」 ★ 監督:小谷忠典
12:15~ 招待作品部門 日本映画最前線 「ねこのひげ」 ★ 監督:矢城潤一
14:50~ 招待作品部門 サプライズ上映企画 ★ 内田けんじ監督に聞く 「私を変えたこの1本」
17:35~ 招待作品部門 サプライズ上映企画 ★ 荻上直子監督に聞く 「私を変えたこの1本」

19:30~ 招待作品部門 マクセル特別協賛企画 森田芳光スペシャル ★ 「水蒸気急行」 「ライブイン茅ヶ崎」
<b>7/18</b> (火)
11:00~ <b>PFFアワードD</b> ★ 「クラウド・ゼロ」 「ダイバーのリズム」
13:45~ <b>PFFアワードG</b> ★ 「ニューヘアー」 「ダム・ガール」 「IMMEASURABLE MYSTIC BOOK」
16:30~ 招待作品部門 日本映画最前線 「紀子の食卓」 ★ 監督:園子温
20:15~ 招待作品部門 シネフィル・イマジカ10周年記念 知られざる世界の巨匠 「UZAK/冬の街」 監督:ヌリ・ビルゲ・ジェラン
<b>7/19</b> (水)
11:00~ <b>PFFアワードH</b> ★ 「MIDNIGHT PIGSKIN WOLF」 「.doc」 「光」

13:45~ <b>PFFアワードE</b> ★ 「盲の夢」 「はっこう」
16:30~ <b>PFFアワードB</b> ★ 「隼」 「hanafusa」
19:15~ <b>PFFアワードA</b> ★ 「黒森歌舞伎」 「豚足の夜」
<b>7/20</b> (木)
11:00~ <b>PFFアワードF</b> ★ 「single」 「まばたき」
13:45~ <b>PFFアワードC</b> ★ 「Catchball With ニコル」 「胸騒ぎを鎮める」
16:30~ 招待作品部門 日本映画最前線 「鼻唄泥棒」 ★ 監督:廣末哲万
19:15~ 招待作品部門 第16回PFFスカラシップ作品 「14歳」 ★ 監督:廣末哲万
<b>7/21</b> (金)
16:30~ PFFアワード2006表彰式+ グランプリ作品上映

★印のあるプログラムはゲスト来場の予定です

## 入場料金

コンペティション部門「PFFアワード2006」専用チケット	PFFアワード2006表彰式チケット	招待作品部門チケット (日時指定)
前売券 [Pコード:476-011] 1回券...1,000円 3回券...2,700円 アワード専用バス...5,000円 (PFFアワード2006+表彰式 / 100枚限定) 当日券 1回券...1,200円 3回券...3,000円	前売券 [Pコード:552-135] 1,000円 当日券 1,200円	前売券 [Pコード:552-136] 1,000円 当日券 1,200円
	PFFスカラシップ作品チケット (クロージング上映)	映画祭フリーパス
	前売券 [Pコード:552-136] 1,000円 当日券 1,200円	(すべての上映作品をご覧いただけます/50枚限定) 前売券 [Pコード:476-012] 10,000円

※映画祭チケット割引について  
最新号の「Weeklyぴあ」、またはぴあカード提示で、当日1回券1,200円より200円割引。

### 前売券のご購入方法

- ①お近くのチケットぴあのお店
- ②ファミリーマート、サークルK、サンクスで直接購入
- ③電話予約後、ぴあのお店、各コンビニエンスストアでお引き換え  
・チケットぴあ/音声認識予約:0570 (02) 9999 (AM10:00からPM11:30、オペレーター対応はPM6:00まで)  
④インターネット→<http://t.pia.co.jp>


**pia.jp/t**  
**電子チケット**  
**ぴあ**  
0570-02-9999

- 注意事項
- ・各回とも開演15分前に開場。各日とも、初回開演30分前 (AM10:30[17日]はAM9:00、21日はPM16:00) より当日券販売および整理券配布を開始します。アワード専用バス、映画祭フリーパスをお持ちの方も、整理券が必要となります。
- ・「PFFアワード専用チケット」「映画祭フリーパス」は7月14日(金)まで、その他の前売券は各作品上映日前日までの販売です。前売券予約は、各上映の4日前までとなります。
- ・アワード専用バス、映画祭フリーパスをご購入された場合は、開催期間中に受付窓口にて、カード型のバスとお引換ください。この時、バスポートにお名前のご記入をお願い致します。複数のお客様によるご使用はできません。紛失の際の再発行はいたしかねますので、ご注意ください。
- ・「PFFアワード専用チケット前売3回券」は3枚綴りになります。ご購入時に必ずご確認ください。
- ・「招待作品部門チケット」「スカラシップ作品チケット」及び「PFFアワード2006表彰式チケット」は、日時指定券です。ご覧になる作品の「上映日と開始時刻」をご確認の上、ご購入ください。
- ・前売券の払戻し、交換、再発券はいたしません。




未来の巨匠へのファーストステップ!  
「PFFアワード2007」作品募集  
受付期間:2006年10月1日(日)~12月1日(金)  
当日消印有効  
応募方法・応募規約など詳細は  
PFF公式ホームページ (<http://www.pia.co.jp/pff/>) にて

第15回PFFスカラシップ作品、待望の劇場公開!  
『水の花』 2006年ベルリン国際映画祭キッダーフィルムフェスト・コンペティション部門正式出品作品  
製作:PFFパートナーズ=ぴあ、TBS、TOKYO FM、IMAGICA、NTTレゾナント  
監督・脚本:木下雄介  
出演:寺島咲、小野ひまわり、田中哲司、黒沢あすか  
配給:ぴあ+ユーロスペース  
<http://www.pia.co.jp/pff/mizunohana/>  
8月上旬、渋谷・ユーロスペースにて公開



昨年、グランプリに輝いた感動のドキュメンタリー『あるべらえず うんべるとー消えぬようにー』をはじめ、PFFアワード2005入選全作品がいよいよDVDリリース!  
6月23日(金) Vol.1・2・3  
7月26日(水) Vol.4・5  
8月25日(金) Vol.6・7  
TSUTAYAほか全国の大型電化店  
CDショップ、書店等にて発売。  
各3,990円(税込)  
発売・販売:エースデュースエンタテインメント



シネフィル・イマジカでは7月からPFFアワード2005入賞作品&『ある朝のバス』を続々放映します。(詳しくは<http://cinetil.co.jp>)

お問い合わせ:PFF事務局Tel:03-3265-1425 (平日10:00~18:00)



# コンペティション部門「PFFアワード2006」

日本最大の自主製作映画コンペティション「PFFアワード2006」。726本もの応募作品のなかから最終選考に残った入選作品は18本! このなかから5名の最終審査員によって、グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞の各賞が選出されます。また、PFFパートナーズの各社から各賞が贈呈されるほか、上映会場での一般観客の投票による観客賞も贈られます。栄光のグランプリを手にするのははたして誰? ※最終審査員はホームページ (<http://www.pia.co.jp/pff/>) にて発表します。

## PFFアワード各賞

- グランプリ(賞金100万円) / 準グランプリ(賞金20万円) / 審査員特別賞(賞金10万円)
- PFFパートナーズ各賞:TBS賞/TOKYO FM賞/IMAGICA賞/エイベックス・エンタテインメント賞/USEN賞/観客賞

## 7月21日(金) 16:30~ 表彰式+グランプリ作品上映

**A** 7月15日(土) 11:00~  
7月19日(水) 19:15~

### 『黒森歌舞伎〜僕が君に残したいもの〜』

監督:木村剛亮(36歳)/85分  
山形県・酒田市で江戸時代から脈々と継承される伝統歌舞伎に取り組み者たちの複雑な人生を巧妙に見せたドラマ。

### 『豚足の夜』

監督:金子直人(24歳)/25分  
それぞれがバラバラな4人家族。長女の歯の違和感と機を合わすかのように、絆がほころんでいくシュールな家族劇。

**D** 7月15日(土) 19:15~  
7月18日(火) 11:00~

### 『グラウンド・ゼロ』

監督:大泉彰彦(23歳)/70分  
自殺サイトで知り合った2人の若者が毒ガスを極秘に入手し、「バターンから外れたヤツら」を始末しようと模索する。

### 『ダイバーのリズム』

監督:野沢拓臣(23歳)/26分  
台風が接近する海沿いの夜のプール。水泳部員の少年とマネージャーの少女の会話を軸に、海風と波の音に彩られた世界。

**G** 7月16日(日) 16:30~  
7月18日(火) 13:45~

### 『ニュー・ヘアー』

監督:川原康臣(25歳)/43分  
入院中の元仕事仲間の奇妙な「遺書」に従いながらドライブを続ける男女。音楽と映像がスタイリッシュに交差する。

**H** 7月16日(日) 19:15~  
7月19日(水) 11:00~

### 『MIDNIGHT PIGSKIN WOLF』

監督:内藤隆嗣(24歳)/51分  
里親に育てられ続ける無骨な男が、川で釣ったジャケットを身にまとい大都会へ向かう。珍妙なハードボイルドドラマ。

**B** 7月15日(土) 13:45~  
7月19日(水) 16:30~

### 『隼』

監督:市井昌秀(29歳)/73分  
エアコンのない古びた一軒家で慎ましく生活する貧しい夫婦。貧乏の極限にまで達した二人はやがて反目してしまう。

### 『hanafusa』

監督:甲斐博和(28歳)/33分  
男が久しぶりに同棲先のアパートに戻ると女は別の男との引越しの最中だった。舞台劇の手法を用いて見せる人間模様。

**E** 7月16日(日) 11:00~  
7月19日(水) 13:45~

### 『盲の夢』

監督:平田啓介(22歳)/63分  
単調な生活を繰り返す若者が突然、車椅子生活を余儀なくされる。そんな彼を優しく癒す一人の盲目の青年との小旅行。

### 『はっこう』

監督:熊谷まどか(37歳)/28分  
一向に言葉を発しない幼児を抱え、いらだちが募る専業主婦の日常。不安が狂気に変わる姿をラテンのリズムで活写する。

**C** 7月15日(土) 16:30~  
7月20日(木) 13:45~

### 『Catchball With ニコル』

監督:浅野晋康(27歳)/60分  
兄妹の2人暮らしのアパートに突然現れる妹のカナダ留学時代の友人。異文化コミュニケーションを軽妙に見せた作品。

### 『胸騒ぎを鎮めろ』

監督:榎野裕(27歳)/48分  
真夜中のパーティーで出逢った彼女とのデートを楽しむ青年が運命のいたずらに翻弄される。風変わりなラブサスペンス。

**F** 7月16日(日) 13:45~  
7月20日(木) 11:00~

### 『single』

監督:中江和仁(24歳)/61分  
学生時代に付き合っていた彼女との間に出来た中学3年生の息子と初めて同居生活をするようになった中年男の物語。

### 『まばたき』

監督:湯浅弘章(27歳)/50分  
病院を抜け出し、「別れた妻」の元へ向かう老人や、母親の出産を目前に控えた少女らが1台のバスに乗り合わせる。

### 『IMMEASURABLE MYSTIC BOOK』

監督:平沢翔太(22歳)/22分  
未開の島で発見された不思議な生き物たちの奇妙な生態系をCGを駆使しながら巧みに描いた疑似ドキュメンタリー。

**光**

監督:濱本敏治(31歳)/13分  
実家の父が病気で兄に知らされ、日帰りで帰省する弟。平穏な日常の変化を淡々と描きながら家族の姿を真摯にとらえる。

# 招待作品部門

劇場未公開作品から劇場公開に先駆けて上映する作品。さらにはこの機会を逃すと二度とスクリーンでは観ることができないかもしれない貴重な作品まで盛りだくさん。今年もPFFは選りすぐりの作品ばかりを厳選し、招待作品として特別上映します。

## 日本映画最前線

7月17日(月・祝) 9:30~ 『いいこ。』 監督・脚本:小谷忠典/2005年/118分 出演:松本美和、廣瀬優紀美、木野花 教師である母と同じように、教師になることだけを見つめて、「いいこ」であり続けながら生きてきた女子大生。だが、教育実習のさなかに、彼女のすべてが音を立てるかのようにはじけていく。初々しい新人女優たちとともに、演技派女優・木野花の鬼気迫る熱演にも注目!	7月17日(月・祝) 12:15~ 『ねこのひげ』 監督:矢城潤一/脚本:大城英司/2005年/100分 出演:渡辺真起子、大城英司、蛭雪次郎、仁科貴 Donald・リチャード氏が「これは現代の小津作品だ」と絶賛したホームドラマ。離婚を経ての同様、幸せを求める二人の微妙な距離感。同棲を始めて3年が過ぎようとしている男女と1匹の猫。そして周囲の人々との関係をほんわりと心温かく描いた大人の物語。
7月18日(火) 16:30~ 『紀子の食卓』 監督・脚本:園子温/2005年/158分 出演:吹石一恵、つぐみ、光石研、吉高由里子 『自転車吐息』(第4回PFFスカラシップ作品)で劇映画デビューした園監督の『自殺サークル』の後日譚とも呼ばれる作品。「自分探し」のため、それぞれ別々に東京に家出した姉妹と彼女たちを必死に追いつめる父親の苦悩。「家族」の本質的な有り様を詩的に描き出す。 2005年カルロヴィバリ国際映画祭(チェコ)特別表彰&ドン・キホーテ賞受賞作	7/20(木) 16:30~ 『鼻唄泥棒』 監督:廣末哲万/脚本:高橋 泉/2005年/90分 出演:廣末哲万、高木亜麗、高橋 泉、中原潤也 「自分の姉を殺した男を監禁している。だが、どうすればいいのかわからない。誰か教えてくれますか?」。webサイトに載せられた奇妙な文章に興味を示した人々が、次々に現場を訪問し始める。「ある朝スウプ」の廣末&高橋コンビによる話題作。 2006年ロッテルダム国際映画祭NETPAC賞受賞作

## サプライズ上映企画 今をときめく日本映画の話題監督による特別セレクション。作品名は映画祭初日(7月15日)に発表します。

7/17(月・祝) 14:50~ 内田監督来場予定! 内田けんじ監督に聞く「私を変えたこの1本」 昨年公開の『運命じゃない人』(第14回PFFスカラシップ作品)が、カンヌ国際映画祭でフランス作家協会賞など4冠を達成し、その後、国内でも数々の賞を総なめにした内田監督。独特なストーリーテリングの妙を披露する彼が、おすすめの1本の映画とは?	7/17(月・祝) 17:35~ 荻上監督来場予定! 荻上直子監督に聞く「私を変えたこの1本」 劇映画デビュー作『バーバー吉野』(第13回PFFスカラシップ作品)がベルリン国際映画祭キンダーフィルムフェスト部門でスペシャルメンションを受け、新作『かもめ食堂』も記録的大ヒットを放っている荻上監督。果たして、彼女が惚れ込んだ1本とは?
---	---

## マクセル特別協賛企画 森田芳光スペシャル

maxell マクセルは貴重な映像作品のDVDアーカイブをサポートしています。

PFFアワード作品を中心に、現在第一線で活躍する監督たちの貴重な作品を所蔵するぴあフィルムライブラリー(PFL)。ずっと残していきたい名作群をマクセルがDVDとしてアーカイブ化している。今回は、1978年PFFに入選後、『家族ゲーム』『それから』『失楽園』そして最新作『間宮兄弟』など、常に独創的で話題をふりまく作品を撮り続ける森田芳光監督の門外不出の8ミリ作品を、マクセルのデジタル技術によりDVD化。森田ワールドの原点ともいえる'70年代伝説の2作品を特別上映。  
★会場では当時のチラシや紹介記事などをディスプレイします。

7/17(月・祝) 19:30~ 『水蒸気急行』 1976年/59分 井の頭線、東海道線、常磐線、山手線、東横線、地下鉄、モノレール、etc。レールの読み切れない配列に従って走る電車のカットにラジオの天気予報や'60sポップス、FEN放送などがかぶさり、圧倒的な編集技術と疾走感の演出で見せきった意欲作。	森田監督来場予定! 『ライブイン茅ヶ崎』(PFF1978入選作) 1978年/77分 『水蒸気急行』の成功後、作られた「ニュー・エンタテインメント・シネマ」(観客も参加する(僕たちの映画))第2弾。茅ヶ崎生まれで茅ヶ崎育ちの若者たちの日常が、ほとんど脈絡のない19のエピソードで綴られる。当時24歳の大夫克洋が、チラシデザインを担当。
---	---

## シネフィル・イマジカ10周年記念 知られざる世界の巨匠

7/18(火) 20:15~ 『UZAK/冬の街』 監督:ヌリ・ビルゲ・ジェイラン/2002年/110分 出演:ムザファ・オズデミル、モハメット・エミン・ブラク 同じ屋根の下で暮らすことになった2人の男の奇妙な物語。2003年カンヌ国際映画祭でグランプリと最優秀男優賞(主演の2人)をダブル受賞した日本未公開の幻の傑作。今年のカンヌでも新作『IKLIMLER』で国際批評家連盟賞を受賞したトルコ映画の新しい波を牽引するジェイラン監督の代表作。
---

## クロージング上映 監督・出演者来場予定!

7/20(木) 19:15~ 『14歳』(第16回PFFスカラシップ作品) 監督:廣末哲万/脚本:高橋 泉/2006年 出演:廣末哲万、並木愛枝、藤井かほり、渡辺真起子、香川照之 脚本は「ある朝スウプ」(PFFアワード2004グランプリ)の高橋監督。演出は「さよなら さようなら」(PFFアワード2004準グランプリ)の廣末監督が担当。PFFスカラシップ史上初めての共同ユニット作品を世界に先駆けて、ワールドプレミア上映。
---

PFFパートナーズ(ぴあ/TBS/TOKYO FM/IMAGICA/NTTレゾナント/ヒューマックスシネマ)提携作品 特別協賛:Kodak 支援:文化庁

※7月19日より、会場にてソニーのプロフェッショナル用HDVカムコーダー&デジタルハイビジョン「ハンディカム」のデモンストレーションが実施されます。

※監督の年齢は、応募時のものです